

(2) 辰野千壽教育賞実行委員会

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

辰野千壽教育賞実行委員会は、本学の創立30周年を記念し、初代学長である故辰野千壽先生の長年にわたる教育・研究業績の精神を受け継ぎ、我が国の教育に多大な影響を与える優れた教育・研究の振興に貢献するため創設された辰野千壽教育賞の実施及び運営を行うため、上越教育大学「辰野千壽教育賞」実施要項第5条に基づき設置されたものである。

イ 組織の構成及び構成員等

辰野千壽教育賞実行委員会は、学長が指名した理事1人、学長が指名した副学長1人、専攻長、学長が指名した附属学校長1人及び学校教育実践研究センター長で組織されている。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

平成30年度は、書面による審議を含めて5回開催した。

イ 審議された主な事項

審議事項は、①第11回（平成30年度）辰野千壽教育賞の募集、②同教育賞一次審査の実施、③同教育賞の選考【一次審査】、④選考結果の通知及び公表、⑤同教育賞授与式等の実施、⑥平成30年度年度計画に係る自己点検・評価の実施及び平成31年度年度計画案の策定、平成31年度事業に向けた検討、⑦第12回（2019年度）辰野千壽教育賞の募集、等であった。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項

本学の創立40周年を記念し、本教育賞に将来性に優れた若手教員等を表彰するための奨励賞の表彰を新たに設けることとし、教育賞実施要項を改正の上、第11回（平成30年度）の募集から奨励賞の表彰を追加した。また、第11回（平成30年度）の本教育賞授与式は、平成30年10月6日開催の創立40周年記念式典において実施した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

平成20年度に創設された辰野千壽教育賞は、平成30年度に11年目を迎えた。この間、全国各地から延べ200人を超える教員等の応募があり、辰野千壽教育賞の目的を十分に達成していると言える。

第11回（平成30年度）の本教育賞においては例年に比して応募者が減少したことから、応募者増加のための方策を継続的に実施していく必要がある。その取組の1つとして、第12回（2019年度）の募集においては、前年度中に募集要項を決定し、募集の周知と応募開始の時期を早めて実施することとした。

また、本教育賞の事業は、上越教育大学基金により運営されており、事業費の確保に向けた検討が必要である。